

近年の美術館整備におけるコンセプト事例

美術館名	開設年	延べ床面積 (㎡)	コレクション数 (点)	学芸員数 (人)	コンセプト	特色
大阪新美術館 (大阪市立)	H32 (予定)	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐伯祐三や吉原治良に代表される大阪がはぐくんだ作家の作品を中心とした第一級のコレクションを活かし、国内トップクラスのミュージアムをめざす</li> <li>○ 「大阪と世界の近現代美術」をテーマとしたミュージアムとして、市立美術館や東洋陶磁美術館にはない新たな魅力を創造</li> <li>○ 歴史的にも文化的にも豊かな蓄積をもつ中之島を拠点として、文化の進行や都市の魅力向上に貢献</li> <li>○ 民間の知恵を最大限活用しながら、顧客目線を重視し利用者サービスに優れたミュージアムとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19世紀後半から今日に至る、日本と絵画の代表的な美術作品(約4,700点)</li> <li>・ 中之島は、大阪府市で策定した「大阪都市魅力創造戦略」や『グランドデザイン大阪』で重点エリアとして位置付けられている。</li> </ul>
滋賀県立 新生美術館	H30~ 31 (予定)	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創造と出会いの場 滋賀ならではの美をはじめ、世界の創作や美を巡る動きを幅広い視野で受け止め、魅力的なかたちで提供する、新たな層象との出会いの場</li> <li>○ 多くの縁を結ぶにぎやかな広場 「美の滋賀」の広場として、美をきっかけに多くの人や地域がつながり、美術館の運営にも様々な人や団体が関わる、いつも人が集う場</li> <li>○ 頼られる存在 滋賀で生まれ育まれた美の資産を未来に確実に引き継げるよう、専門的な知識と幅広い経験に基づいた活動や情報を広く提供する信頼される存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個性的な3つの美の資源 〈神と仏の美〉 〈近代美術館〉 〈アール・ブリュット〉</li> </ul>
新富山県立 近代美術館	H28 (予定)	9,748	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アートの力を発信する美術館 ・「まもり、活かし、つたえる」 ・新たな付加価値を創出</li> <li>○ 県民が優れたアートに親しみ、生活の中に活かし、創造性に富んだ豊かな人間性を育む美術館 ・「訪れる」 ・「楽しむ・学ぶ・親しむ」 ・「創る」 ・「発表する」 ・「憩いと癒し」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外における20世紀以降の美術の流れを展望するとともに、郷土美術の伝統を確かめ発展させることを基本姿勢とし、新しい創造の可能性を見出すにふさわしい文化拠点としての役割を果たす</li> </ul>
大分県立美術館	H27	13,417	約5,000	8 うち 非常勤 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大分らしい美術館「自分たちの応接間」 「大分スタイル」のどこにもない地域の美術館 県民が「自分たちの応接間」と思える美術館</li> <li>・「成長する」美術館</li> <li>・「四季を感じる」美術館</li> <li>・「五感を刺激する」美術館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大分県の芸術文化の拠点として美術を牽引。子どもの美術に触れる機会を確保し豊かな感性や創造性を育む場の役割を果たす</li> <li>・ 大分の天然自然の中で「四季を感じる」「五感を刺激する」美術館を目指す</li> </ul>
秋田県立美術館	H25	3,746	599	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 藤田嗣治作品による文化の創造 平野コレクション及び県所蔵の藤田嗣治の作品を中心に、県立近代美術館と連携しながら美術展示を行い、県民への美術鑑賞機会の提供と、青少年を中心とした美術体験活動によって、新たな文化を創造</li> <li>○ 芸術に親しみ交流できる場の提供 子どもから高齢者まで世代を超えて気軽に集い、美術館が日常の場として生活の中で芸術文化に親しめる環境を整える</li> <li>○ 新しい街の文化のシンボルとして街、人、文化の共生 新しい街の文化の創造に貢献するとともに、文化及び美のシンボルとして親しまれる施設をめざす</li> <li>○ 秋田の文化力の発信 芸術文化活動の発表の場として活用するとともに他施設と連携した様々な企画展を開催し、秋田の文化力を広く発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一階の美術ホールは貸ホール、県民創作活動の場として親しまれている</li> <li>・ 二階の展示室では、(公財)平野政吉美術財団所蔵の藤田嗣治の作品を中心に西洋絵画等を公開</li> </ul>
青森県立美術館	H18	21,222	3,413	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青森県の芸術風土を世界に向けて発信 青森県の豊かな芸術風土や隣接する三内丸山遺跡に埋蔵された縄文のエネルギーを芸術創造の源泉として捉えながら、強烈な個性を有する青森県のアーティストたちの原風景を探求し、青森県の芸術風土を世界に向けて発信</li> <li>○ 優れた芸術を体感できるよう図る 美術をはじめとして、映画、演劇、音楽など様々な文化芸術活動を活発に展開し、県民が驚きや感動を体感するとともに、新しい価値観と出会う場を積極的に創る</li> <li>○ 子どもの感性と創造力を育む 青森県の未来を担う子どもの育成を重視して、「こども美術館」のイメージの下に、子どもたちから美術館や芸術に親しみ、豊かな感性や創造力を育むよう総合的な事業展開を図る</li> <li>○ 県民とともに活動する 県民が美術館の活動に積極的に参加できるよう常に工夫し、県民とともに歩むことを目指す。多くの県民が美術館の事業に参加できるよう、ボランティアやインターンシップ、障がい者による鑑賞等の機会を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青森県の芸術風土を世界に向けて発信し、美術・映画・音楽・演劇など様々な文化芸術活動を展開</li> <li>・ こども美術館のイメージの下に子どもの豊かな感性や想像力を育むような総合的な事業展開を図る</li> </ul>